

1月号 第99号

発行日 : 2024年12月23日

発行 : 虹技株式会社

安全環境管理部 環境管理G
姫路市大津区勘兵衛町4丁目1
☎ 079-236-3257

「虹の森」通信

なんだか 寒くなって、ほっとしていません。冬はちゃんと寒くなくっちゃね。そういませんか? イルミネーションに包まれた歳末セールのはしゃぎは、何といても寒さとともにです。

タイトルバックは、その極寒の中一生懸命に木を突いて虫取りにはげむコゲラさんです。コゲラは山林だけではなく、雑木林や公園など木のあるところならどこにでもいます。ですから虹技の工場周辺でも観察できます。彼らは群れることを好まず、つがいや家族でいることが多い家庭的な野鳥です。またその絆は、つがいが死んでしまうまで続くのだそうで、ひとりぼっちになっちゃったら、シジュウカラや他の鳥の群れにまじったりするそうです。なんだか、われわれ人間の老後に似てますね。



こちらは、夏から秋にかけてみられるオオアイトトンボです。メタリックな光沢が美しく、今年は残暑が長かったせいかこの時期、まだ観察されるようです。空中で獲物を捕えるフライングキャッチが得意で、目にもとまらぬ素早さです。他のイトトンボなら羽をぴたりと閉じてとまるのに、彼らの特徴は写真のように羽を半開きの状態で静止するのです。きっと、飛び立つタイミングをうかがってスタンバイしているのでしょう。ヤゴの生育には、湿地や水辺の豊かな環境が必要なので、環境指標種ともされています。



こちらは森のアイドル、ニホンリスさんです。何しろすばしっこくて、写真に収めるのも一苦労。冬を迎える前に木の実の収集に余念がありません。一説によると、毒キノコをバクバク食べることがあるそうで、いったいどうやって無毒化しているかは謎のようです。昔は全国に分布していたそうですが、近年は九州・広島では観察例がなく、その地でも絶滅したのではないかとされています。なんだか残念ですね。



こちらは、グラウンドカバーで有名なフッキソウの実です。一年中葉っぱは緑で、横へ横へと繁殖しますが、実がつくのはとってもレアなんですよ。この真っ白で白玉だんごのような実は、まるで二本の角が生えているようでとてもユニークです。めったに見られない希少感と、その可愛らしい姿から「森の真珠」なんて呼ばれることもあるようです。なるほどね、真珠っぽいですね。

環境爺(びびい)のつぶやきコラム



ぶつぶつ

最近右膝に違和感があつての、痛いとか動かんとか言うのではなく、なんというか「もうすぐ爆発しそう」みたいな感覚なのじゃ。そんな予感を抱えておいたら、突然、その膝上の筋肉がクーデターを起こしよつた。就寝中に突如激痛のこむら返りじゃ。こむら返りは通常、ふくらはぎじゃが、違つた。右膝上の筋肉が突然つた。あまりの痛さに飛び起きたせいで、一緒に寝ていた猫たちは大迷惑じゃ。のたうち回つたがなんとかその場はおさまつた。その後も調子はよくなく、今も右膝上の筋肉がはれ上がり、押すと痛い。外科へ行くべきか迷うが、診てもらつたとて「お歳です」と言われてシッパを処方されるのがオチだろうし、気が進まん。わしゃ若い頃、一応サッカー部でな。長年軸足を酷使したから、きっとそのツケじゃろうな。若者よ、あんまりスポーツに熱中しすぎると老後あちこちにガタが出るぞ。なにごとともほどほどにな。



さて、わしが先月号で悪態をついたCOP29も無事閉幕したようじゃ。何しろ何の情報も伝わつてこん。マスコミの興味は他に集中しておつて、それどころではないのじゃろう。そこで調べてみたが、予想通りの「金」に関する目標設定に終始し、幕を下ろしたようじゃ。会議で最後に決定したことは、「開発途上国への気候支援目標を2035年までに少なくとも年間3000億ドル」「開発途上国への公的・民間の資金源から2035年までに年間1.3兆ドル以上にするため、すべてのアクターに対してともに行動することを求める」の2本立てのようじゃが、何のことかよう分からん。

要領を得るので、何とか分かりやすく言うと「途上国支援の目標額を2035年までに3000億ドルにする」「すべてのアクターに対して、2035年までに途上国支援を1.3兆ドルにするためにもともに行動することを求める」と。これでも分かりにくいな。要は、途上国支援の目標額を高く設定し、途上国支援をみんなで頑張りましょうと求めた内容じゃ。何の拘束力もなく、守る必要もなさそうな結論。これじゃその進捗状況を検証する価値もなさそうで、こんな茶番ならもうやめてはどうかと思つてしまうのはわしだけかのう。



そんなCOP29についてはさておき、面白い記事を見つけたので紹介したい。地球上に発生する雲が、2023年は過去20年で最少だったというのじゃ。NASAの衛星データをつぶさに調べた分析結果でわかつたそうじゃ。原因ははっきりせんらしいが、わしゃこれこそが地球温暖化の第一原因ではないのかと膝を打つたぞ。そもそも、温暖化ガスなるものの温暖化メカニズムに対してわしゃ眉唾物で聞いておる。いわゆる温暖化ガス犯人説の懐疑派じゃ。いくら聞き込んでピンとこなし、そんな成層圏より高い位置での現象を検証できるのかという疑問をぬぐい切ってくれる程の話は未だ聞いたことがない。



それよりも、地球の温度を大きく左右するのは雲の発生じゃとわしは思う。雲が空を覆えば太陽エネルギーは地表に届かん。そんなこたあ、分かり切つた現象じゃわな。反対に雲が減少すると太陽光が降り注ぎ、間違いなく地表面や海面の温度が上がり気温も上がる。こんな雲の特性をそれこそ

置いてけぼりにして、温暖化ガスこそが地球温暖化の原因なりとするのはどうかと思うのじゃ。



今こそ、雲の偉大さについて改めて認識しよう。雲が空中に浮いているからって、フワフワの綿花のように軽いものだと思うてはおるまいのう？ 雲の正体は水蒸気のかたまりじゃ。つまり、ものすごい量の水じゃ。地表に降り注ぐ雨はすべて雲が運んでくるし、地表の川の水はすべて雲が運んできた水じゃ。時には豪雨となり、河川を氾濫させる災害をももたらす。もちろん地球の表面積の7割を占める海にも降り注いでおる。そのとてつもない水量が太陽を遮蔽すればあつという間に地球は冷え込む。また、雲がなく晴れ渡ればこれまたあつという間に温暖になるという訳じゃ。そんな雲の発生が、昨年度は過去20年で最少だったということは、去年の猛暑とこの異常気象も、それに起因するのではなからうかと思うのは、わしだけか？



記事によれば、ここ20年間で世界中の雲は尻すぼみに減少し、日本もこの10年減り続けておるそう。そしてこの減少カーブと反比例し、日射量は右肩上がりじゃ。科学的検証なんぞ必要のない分かりやすい自然現象じゃないか。日射量が増えればそりゃ温暖化するわなあ。だが、雲の発生がなぜ減少しているかは分からないんじゃ。一説では、大気汚染物質であった微粒子（エアロゾル）の大気への放出が減少したからではないかと言われておる。なぜなら、雲は水蒸気だけでは生成されず、何か水滴の核となるものが必要なのじゃ。大気中に浮遊しておる微粒子が多いと雲の発生も多いというわけじゃ。皮肉なことに大気汚染物質の減

少が、雲の発生を減少させ、地球が温暖化しておるということじゃ。



じゃがの、わしゃそんなには心配しておらん。日射量が増えるということは蒸発して大気に上る水蒸気が増えるわな。そうするとその水蒸気はいずれ雲となり、雨として降り落ちる運命じゃから、めぐり巡って雲の発生は増加に転じるはずじゃ。では皆は日本で降る雨はいったいどこからきたか知っておるか。赤道付近の海から蒸発したものがはるばる日本にやって来て降り注いでおるのじゃよ。だからタイムラグはあるのじゃ。いつまでも雲の発生が減少し続けるとはちょっと考えにくい。どこかのタイミングで均衡もしくは、増加に転じるはずじゃ。さもなければ蒸発水と降雨のバランスが取れないじゃないか。

COP（国連気候変動枠組条約締約国会議）もIPCC（気候変動に関する政府間パネル）も、資金援助や温暖化ガスの抑制なんて虚しいテーマなどやめて、雲の発生と温暖化についてもっと議論や研究を進める必要があるのじゃないかえ。わしゃそう思うがの。



ところで、最近わし的に嬉しい発見があったのじゃ。以前にも言うたが、左右の奥歯が抜かれて部分入れ歯になっておって、やはり入れ歯というのは面倒臭い。食べた物が入れ歯と歯茎の間に挟まり、その度に外して口や入れ歯をゆすがにゃならん。外食時が特に面倒で、何とかならんものかと、入れ歯安定剤を試してみたらこれがとても快適なのじゃ。入れ歯と歯茎の間をパテ埋めしたようにふさいでくれて、食べ物が間に入り込まん。しかも、総入れ歯専用じゃとてっきり思い込んでおって不勉強じゃった。これで不快感なく、もう人前でコソコソ入れ歯を外さずに済むわい。

ぶつぶつ

虹の森なう

11月23日は記念すべき
100回目の活動でした。

看板の塗装もやり替えて、公園職員さんたちと一緒に記念の集合写真をパチリ。



この日は鳥たちの巣箱の掃除と、看板の支柱の塗装、デッキの梁を支える柱の補強を行いました。また、雑木伐採も精力的に行い、作業が終わるころには結構くたくたでした。今の時期は涼しいので作業がはかどり、ちょっとオーバーペースになりがちです。



そして、作業後はいつもの温泉に入ってから、今回は100回記念ということで特別に「夢やかたキャンプ場」に移動し、キャンプを実施。寒い時期なのに、キャンパーたちが大勢いて驚きました。冬のキャンプって今トレンドなんですね。みんなで手分け協力しながら、獅子鍋におでんに、焚火もして、大いに楽しみました。



日が変わって12月21日の活動は、チップパー機を運び込み、ゆめもりクラブの皆さんと共同で木材チップづくりと遊歩道へのチップ敷設作業を行いました。間伐材が大量にあったのと、カシなどの堅い木が多かったせいで、時間は結構かかりました。作業に当たった皆はもうくたくたの全身粉まみれ。



みなさんご存じのとおり、私たちの森林ボランティア活動が100回を超えたことで、先日社長表彰されました。パチ、パチ、パチッ。これからも楽しみながら虹の森の生物多様性を実現させるため活動を続けていきますので、応援よろしくお願いたします。みなさん、良いお年を！！



第102回 森林整備の案内と参加者募集

次回は少し寒いとは思いますが、下記日程で作業を行います。虫もヒルもないこの時期には、雑木伐採にベストな季節。鳥たちの姿が観察できるのもこの季節ならではの楽しみです。それに作業後の心の気持ちよさは別格で天国を感じますよ。年末年始で疲れてしまった身体に喝を入れて新年をスタートさせるため、参加してみませんか。初めての人、大歓迎です。

日時： 1月11日(土) 10:00~15:00 (9:30公園駐車場集合)

場所： 県立ゆめさきの森公園(虹の森)

申し込み： 参加希望者は、環境管理G 的場まで、またはお近くにいるメンバーまで連絡ください。

的場ケータイ：090-5979-8385

メンバーの方はショートメール等で参加の可否を連絡いただければありがたいです。

初めて参加される方は、保険に加入しますのでお名前、住所、ケータイ番号を連絡ください。